

## 【概要】

しまなみ海道沿線の今治市島しょ部の方(以下「島民」という)は、日常的に生活道路としてしまなみ海道を利用しているが、どの程度しまなみ海道を利用しているか定量的な把握ができていないことから、人口統計データや島民の方のETCカード番号を活用した交通量等のデータにより、しまなみ海道の交通動向や利用実態の分析、及び世帯数や人口の推移の分析を行った。

## 【分析方法】

令和4年4月から島民にアンケートを実施し、任意提出のあったETCカード番号を活用して、本四高速(株)協力の下、各種交通量等データを抽出し、そのデータを元にしまなみ海道の交通動向や利用実態の分析を行った。

また、しまなみ海道沿線地域の世帯数や人口の推移は、今治市の統計データを用いて分析を行った。

		全体
総世帯数(2022年3月31日現在)		8,616 世帯
アンケート配布	世帯数	7,321 世帯
	配布率	85.0 %
アンケート回収	回収数	4,205 世帯
	回収率	57.4 %
ETCカード情報提出世帯数		3,892 世帯 (総世帯数の45.2%)

※回収率約6割



## 【分析期間】( )内は詳細版のページ番号

分析期間は、2019年1月から2022年3月の3年3ヶ月間(P.3)  
(新型コロナ:2020年2月1日ダイヤモンド・プリンセス号で初の感染確認)

## 【主な分析結果】( )内は詳細版のページ番号

### ◆ 世帯数・人口(P.5~)※今治市の統計データにより分析

- 島民の世帯数・人口は減少している。
  - 世帯数(2019年1月)9,077世帯 → (2022年3月)8,616世帯
  - 人口(2019年1月)17,916人 → (2022年3月)16,327人

### ◆ 地域間交通量(P.8~)※本四高速の交通量等データにより分析

- 地域間交通量は、平日・休日ともに「四国-島しょ部(今治市)間」の交通が最も多い。
- ETCカード提供者(島民)・小型車の平日走行台数/日はコロナ禍であったにもかかわらず、増加傾向を示している。「四国-島しょ部(今治市)間」の増加率=1.05、「島しょ部(今治市)3島間」の増加率=1.08
- 一方、**その他車両(※)**・小型車の平日走行台数/日は、コロナ禍の影響により減少傾向を示している。「四国-島しょ部(今治市)間」の増加率=0.85、「島しょ部(今治市)3島間」の増加率=0.86
- (※)その他車両とは、ETCカード提供者(島民)以外の車両のことで、ETCカード未提供の島民の車両も含まれる。

### 【四国-島しょ部(今治市)間】



### 【島しょ部(今治市)3島間】



### ◆ 利用回数(P.17~)※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 月あたり利用回数の世帯構成比は、**10回未満(週1回程度)の利用が全体の約半数、20回未満(週2回程度)の利用が全体の約7割**を占める。

【参考】週1回×往復×4週=8回、週2回×往復×4週=16回、週3回×往復×4週=24回

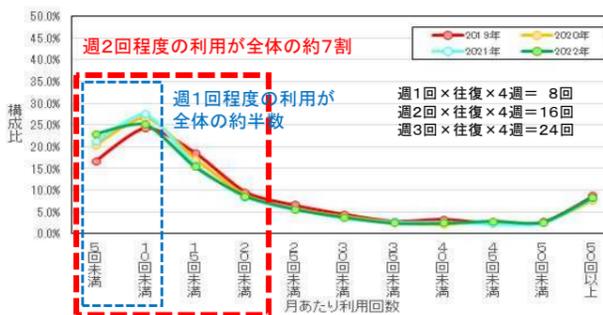
### ◆ 通行料金(P.19)※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 月あたり通行料金の世帯構成比は、**月1万円未満の割合が全体の約半数**を占める。また、**月2万円未満では全体の約8割、月2万5千円未満では全体の約9割**であり、**通行料金からも週1回~2回程度の利用がほとんどを占める**ことが分かる。

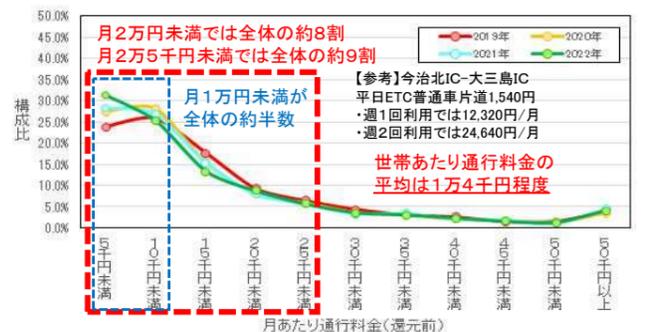
【参考】今治北IC-大三島IC(ETC普通車片道1,540円) 週1回利用では12,320円/月、週2回利用では24,640円/月

- 月あたり通行料金計を全世帯で除算した**世帯あたり通行料金の平均は、1万4千円程度**。

### 【利用回数(月あたり)の世帯構成比】



### 【通行料金(月あたり)の世帯構成比】



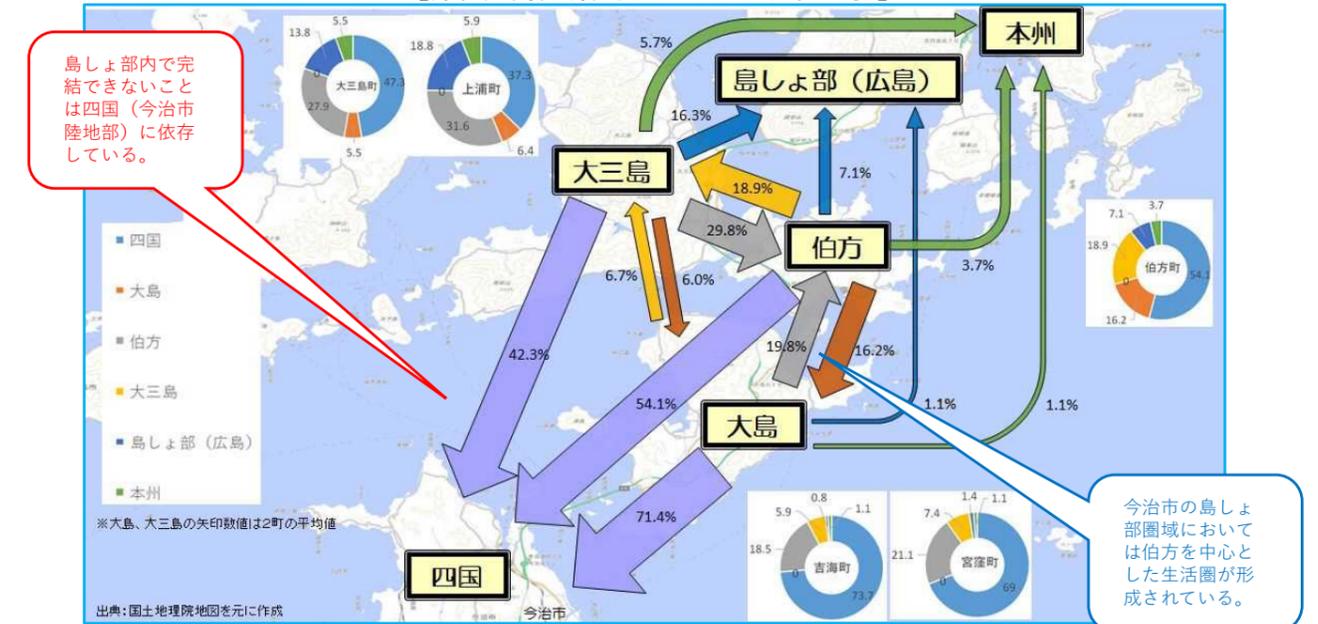
### ◆ 滞在車両数、滞在時間、滞在场所(P.20~)※本四高速の交通量等データにより分析(ETCカード提供者のデータのみ)

- 今治市島しょ部3島間の移動は全体の約2割~4割を占め、中でも**伯方への滞在(行き先)割合が多い**。
- 今治市島しょ部3島間の移動を除いた滞在(行き先)場所は、3島ともに「島しょ部(広島)・本州」より**「四国」への滞在(行き先)が圧倒的に多い**。

【参考】島しょ部3島を除く「四国」への依存度(各島の四国側と広島側の滞在割合を比較)

(「四国」÷「四国+島しょ部(広島)+本州」)×100 = 大島:97%、伯方:83%、大三島:66%

### 【滞在先割合(各町ごと・平日・3ヶ年平均)】



## 【考察】

- ETCカード提供者(島民)においては、コロナ禍にもかかわらず平日の走行台数が増加傾向を示していることから、**しまなみ海道はなくてはならない「唯一の生活道路」**であると考えられる。
- ETCカード提供者(島民)のしまなみ海道の利用は、**ほとんどの世帯が週1回~2回程度の利用**であり、四国への滞在(行き先)割合が最も多いことから、**島しょ部内で完結できないことは今治市陸地部に依存している**と推測される。
- ETCカード提供者(島民)の今治市島しょ部3島間の移動は全体の2割~4割であり、伯方への滞在(行き先)が多いことから、**島しょ部圏域においては伯方を中心とした生活圏が形成されている**ことが推測される。